

将来像を実現するための推進方法

和地区の住民と共に、区長会や活性化研究委員会等の各種団体が連携して、役割分担をしながら、具体的な取り組みを考え推進します。また、行政と協力して進めていきます。そのための仕組みづくりとして、コミュニティの再構築に取り組みます。

- 具体的な取り組みについては、目標（行動計画）を持って住民みんなで実現を目指します。
- 子どもから高齢者までの幅広い世代が参画し、若者、女性や移住者が積極的に関わることができる活動を展開していきます。



みんなで作る 和の未来

—和地区の地域ビジョン—

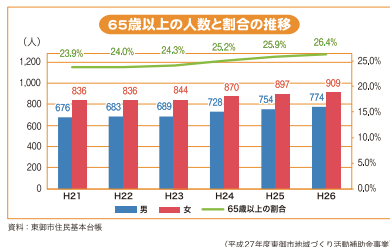
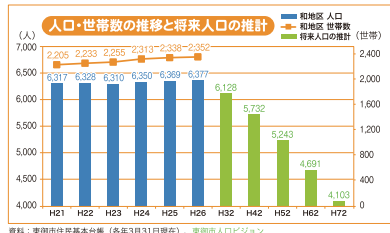
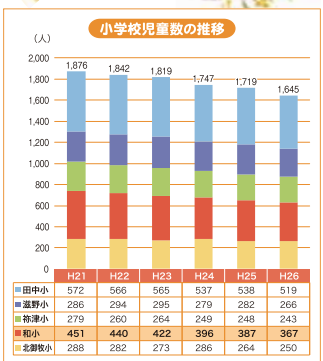


私たちがこれからも住んでいきたいと思える地域は、住民みんなで考え、住民みんなで行動していくことで実現します。そこで、和地区地域ビジョン策定会議（和地区の各区長、市議会議員、活性化研究委員会の役員）と地区内の各種団体の代表者等の皆さんにより、地域が抱える課題、問題、将来、私たちの和地区をどのような地域にしたいのかを「地域ビジョン」としてまとめました。

住民みんなで共有し、多くの皆さんでこの「地域ビジョン」を実現していきましょう！

平成27年12月
編集・発行 和地区地域ビジョン策定会議

和地区の統計



和地区の現状と課題

若者の定住、子育てに関すること

- 魅力的な進学先や職場が少なく若者が地元を出て戻って来ない
- 未婚・晩婚が増えている
 - ・ 出会いの機会が少ない
 - ・ 結婚を希望しない
 - ・ 経済的に自立できる女性の増加などが要因
- 市内に妊娠・出産を支える機関等が少ない
- 核家族化、共働きなどの定着、教育費の増加などで子育てにかかる負担が大きくなっているが、それを支える仕組みが十分に整っていない
- 放課後の居場所づくりが十分ではない
- 親が忙しく子どもへの愛情が不足している
- 親に「頼らない・頼れない」
- 子育て中の母親の孤立
- 地域が子育てに協力できていない
- 和地区は道路が狭く、交通事故が起きやすい
- 小学生の通学路の安全確保が十分でない
- 自動車がないと移動に不便
- 若者が楽しめる場所がない

和地区の将来像

若者や子育てしている世代が幸せを感じられる地区

～若者が定住し、結婚・出産・子育てがしやすいまちづくりを目指します～

- | 目指すべき姿 | 実現させたいこと |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 和やかな田舎の良さが保たれている地域 ● 笑顔で住める、明るく暮らせる地域 ● 若者が経済的に自立できる地域 ● 地域の交流が密で一体となり、地域の子ども達を育てることができる地域 | <ul style="list-style-type: none"> ● 地元を出た若者が戻り定着する環境づくり（働く場所や若者同士の出会いの場の充実等） ● 安心して子育てができる環境づくり（親同士や地域の交流・連携の場の確保、地域での見守り活動の推進、子どもが安心して外で遊べる環境の整備、交通ルールの順守等） |

農業・農地、景観、観光に関すること

- 担い手の高齢化と後継者不足により荒廃地・遊休農地が増加している
- 農地が別用途に転用されている
- 作目に統一性がない
- 地区内の名所や史跡、観光資源が有効活用されていない
- 標高差などの地域の特性が活かされていない
- 里山の魅力を活用する整備が十分でない
- 花木の植栽や雑草の駆除等、景観や環境が整備されていない
- 廃屋や空き家が増加している



観光と農業・農村が共存共栄できる地区

～農業や景観などの地域資源を活用したまちづくりを目指します～

- | 目指すべき姿 | 実現させたいこと |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の特性（1,400mの標高差、景観、歴史等）を活かした観光と農業ができる地域 ● 農業に子どもの頃から親しみ、継承される地域 | <ul style="list-style-type: none"> ● 特産品の産地化（特産品の開発とブランド化、観光農園の整備、6次産業化等） ● 農業の継承（高齢者の生きがいとなる農業や子どもの頃からの農業の実践、荒廃農地の再生等） ● 地域の魅力を活かした取り組み（里山などの景観整備、和學校記念館などの歴史遺産の活用、湯楽里館などの観光施設の連携等） ● 農地と商業・流通などのエリア分け（浅間サンライン周辺の開発、景観を考慮した農地エリアの保全等） |



伝統行事、近所づきあい、支えあいに関すること

- 担い手の高齢化、参加者の減少により伝統行事や地域行事の維持が困難になっている
- 若い世代の行事への参加者が減少している
- 住民同士が顔を合わせる機会が減っている
- 新旧住宅地間のつながりや隣近所のつきあいが希薄化している
- 消防団員の確保が困難である
- 移住者を前向きに受け入れる体制がない



多様な世代が運営を支え、郷土愛を持てる地区

～伝統行事、近所づきあい、支えあいが盛んなまちづくりを目指します～

- | 目指すべき姿 | 実現させたいこと |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 子どもからお年寄りまで参加できるイベントが実施できる地域 ● 若い世代がコミュニティ活動の担い手になれる地域 ● 良好な近所づきあいや支えあいができる地域 ● 移住者も含めて地域愛が育まれる地域 | <ul style="list-style-type: none"> ● 行事やイベントの見直し（高齢者だけでなく若い人と共に支える行事運営、行事の負担軽減、複数区での合同開催等） ● みんなが積極的に参加する区の運営（時代に合った区の運営、女性・若者の参画、合理的な役員選出等） ● 隣近所や区、地区の中での助け合い（近所でのコミュニケーションの活性化、困った時の支えあい、消防団員の確保等） |

※「和地区の将来を考える会」（H27.7.26）で出された意見を集約したものです

みんなで残そう「和」の風景と歴史

かのう

～将来残していきたい・残してもらいたい地域資源マップ～

和地区活性化研究委員会作成の「和地区ガイドブック」と「ふるさと和」に掲載されている史跡や伝統行事等を参考に、地域を見つめ直し、新たな視点も取り入れた、和地区に「将来残していきたい、残してもらいたい地域資源マップ」を作成しました。

和地区は、烏帽子岳の麓に広がる南面傾斜の扇状地に位置し、自然に囲まれたすばらしい風景が地域の自慢です。また、伝統文化や歴史が多く、そして、住民の絆で運営する伝統行事や地域行事が盛んです。この和地区の良さを、これからも将来に伝え、みんなで残していきたいです。

4 湯楽里館



平成5年にオープンした眺望が自慢の市の日帰り温泉施設。施設の周りはぶどう園に囲まれており、最近では観光農園が盛んです。

5 湯楽里館道沿いの花壇



平成27年、湯楽里館へ行く道沿いに、和地区活性化研究委員会が花壇を整備しました。

6 栗林区「獅子舞」



明治15年頃より区長によって伝えられてきた獅子舞。区をあげて保存に取り組んでいます。

7 西深井区「ほたるの里」



6月半ばから、ホテルの季節ははじまります。せせらぎ水路にすんでいるのは水の綺麗な川を好むゲンジボタル。夜の8時から9時ぐらいが見頃です。

8 東深井区「作業所」



昭和28年頃に、設置された「作業所」共同精米所で現在も利用されています。最近ではコンビニの普及により利用者が減少していますが、コメの生産、精米、出荷に利用されています。昔は、冬等は薪割し、そして味噌・醤油造りに欠かせない麹造りなどにも利用されてきました。

9 曾根区「ふれあい祭り」



長年実施している区の一大行事です。毎年11月の第一または第二日曜日に開催。区長が出陣。一日のお祭り。主な出し物は、福引、赤飯おにぎり、大釜飯汁などです。

3 田沢区「御柱祭」



美都神社で7年に1度、寅と申の年の4月12日(前後の日曜日)に御柱祭が行われます。木遣りの音頭により、大勢が掛け声をあげながら、御柱を神社まで曳いて、境内に建立する祭です。

2 田沢区の風景



見玉山から見下ろす田沢区。南北に長く、自然が豊富な農村です。

1 大田区休養村とうぶ



東入区と西入区の両区にまたがって位置している。平成10年開設の大田区の区民休養村。毎年、多くの小学生が校外学習に訪れ、農業体験などを通じて、ここに愛着を持ってもらっています。

24 東上田区の風景



東上田区から東上田区に広がる東上田区の風景です。

23 東上田区「春原家住宅」



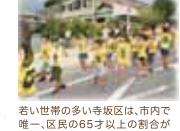
区内にある国の重要文化財の「春原家住宅」は、江戸時代初期の上層農家の住宅で、当時の生活の様子が伺える貴重な建物です。

22 和保育園



平成26年4月に和・西保育園の統合によって開園した和保育園。

20 寺坂区「市民まつり」



若い世帯の多い寺坂区は、市内で唯一、区民の65才以上の割合が10%を下回っている区です。その一方で毎年「市民まつり」に参加し区民の親睦を図っています。

19 和神社



明治41年に各集落にあったお宮(9村社、11無格社)が合併し、「和神社」として烏帽子山に祭られ、現在に至っています。

17 和学校記念館



現小学校に隣接の和学校記念館(旧和学校の校舎)は、和村民の熱意「和海洋」教育にさらされた和洋新築建築で、今でも大切に保存されています。

18 和小学校



和教育の原点となる和学校の開校(明治12年/1878年)から続く現在の和小学校。

16 大川薬師尊(薬師堂)



真田家の庇護を受け、この地域に薬師堂が建てられ、薬師尊(丸影木像・高さ21cm)が祀られました。当時の薬師堂は、焼失しましたが元和9年(江戸時代初期)に下大川に再建され、その後、現在地に移設されました。1月7日と4月8日に縁日が開催されます。

12 日向が丘・海善寺・海善寺北・睦の4区子供相撲大会



日向が丘・海善寺・海善寺北・睦の4区が合同で、滋野神社を会場に、毎年行っています。

15 海善寺北区「どんど焼き」



昭和55年からはじまり、当初は公民館の広場で、今は仲よし公園で行っています。

10 曾根区「お花畑」



平成9年に区内の遊休農地を利用して計画、小学生がデザイン。市から提供される花の苗1,400本を毎年5月上旬に小学生・区民全員で植付を行い、全員で管理しています。

11 海善寺区「石仏群」



鎌倉時代から室町時代にかけて海野氏の祈願寺「海善寺」があったと言われる場所に立ち並ぶ石仏群。温かく住民を見守っています。

14 海善寺北区「歩こう会」



昭和58年頃から運動会と歩こう会を1年交替で開催していましたが、今は毎年「歩こう会」を行っています。公民館から東部中央公園までです。

15 大川区「ほたるの里」



平成12年に、「ほたる」の生育環境の整備を開始しました。6月中旬～7月初旬が見頃で、ほたるを堪能しています。

※このマップには、地区内のすべての史跡や行事等が掲載されていません。そのため、これを機会に地域に目を向け、これまで気づかなかった地域資源や後世に残していきたいかなければならない行事等の掘り起こしにつながっていくことを願っています。